

おおてみち

第99号

平成29年(2017年)3月31日
滋賀県立安土城考古博物館



織田信長画像(部分)徳見寺



織田信長画像(丹波市保管)



細川昭元夫人-信長の娘・お犬-画像
(京都市龍安寺蔵)



織田信長朱印状(京都市龍安寺蔵)

開館25周年記念 平成29年春季特別展

信長の プロフィール



小牧山地形模型
(個人蔵)

〈背景〉蓮大明神境内古絵図
(越前町鶴神社蔵)

平成29年 4月29日(土)祝 - 6月4日(日)

開館時間…午前9時～午後5時 ※ただし、入館は午後4時30分まで

休館日…月曜日 ※ただし、5月1日は開館

入館料…大人890円(680円) / 高大生630円(460円)

小中生410円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)450円(340円)

※()は20人以上の団体料金です。※「信長の館」との共通券もあります。

近江風土記の丘
滋賀県立 安土城考古博物館
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678
Tel. 0748-46-2424 Fax. 0748-46-6140
e-mail: gakupei@azuchi-museum.or.jp
URL: http://www.azuchi-museum.or.jp

企画展示室

開館25周年記念 平成29年春季特別展

信長のプロフィール

信長は現在、歴史上の人物の中でも、一、二を争う人気を誇っています。強力なリーダーシップ、進取気鋭で開明的な政策、奇抜な戦法など、人びとは閉塞的な時代を打破する「改革」の気運を、信長に夢見ているようです。

しかしながら、その信長の実像というと、意外なほど知られていません。それどころか最近の研究では、このような信長のイメージを覆す説も、多方面で唱えられるようになりました。

信長の先祖は藤原姓を名乗り、越前国(福井県)織田の劍神社と深い関わりを持っていましたが、尾張(愛知県)に移った後、信長が「平」姓に改めたため、現在の系図は全て平氏です。

織田氏は尾張守護代(たいてい)の家柄ですが、分家である信長の家はその家臣で、幕府の政治に関与できる立場にはありませんでした。父の代から実力をつけ、多くの兄弟姉妹に支えられながら、大名の地位に上り、やがて上洛を果たします。多くの子供たちも、有効に利用されました。

しかしながら、信長自身は自ら権力の頂点に立つとは考えていなかったようです。各地の争乱を鎮めて將軍もしくは天皇を中心に平和な世を作る、すなわち天下静謐(しんかまひびつ)に寄与するために、それを乱す勢力と戦ったというのです。

展覧会では、信長の出自や一族、その歩んだ道を資料で紹介しながら、新たな「信長像」の魅力を考えていきたいと思えます。

主な展示資料

(●)は国宝、○は重要文化財、△は県指定文化財、□は市指定文化財

南蛮胴具足(岐阜市歴史博物館蔵)

□織田信長画像(近江八幡市惣見寺蔵)

織田有楽斎画像(京都市正伝永源院蔵)

織田信包画像(京都市龍安寺蔵)

お市の方一信長妹一画像(龍安寺蔵)

□お犬の方一信長妹一画像(龍安寺蔵)

△劔大明神境内古絵図(越前町劔神社蔵)

△平信長銘罎口(郡上市大師講蔵)

●三条西実枝書状(京都市府京都市学・歴史館蔵)

小牧山地形模型(個人蔵)

正親町天皇綸旨案(京都市歴史資料館蔵)

○安土山下町中掟書(近江八幡市蔵)

○六角氏奉行人連署奉書案(今堀日吉神社蔵)

春季特別展記念講演会

「信長が目指した天下静謐とは？」

講師：金子拓氏(東京大学史料編纂所教授)

日時：5月14日(日) 13時30分～15時

「信長以前の織田一族」

講師：高木久史氏(安田女子大学准教授)

日時：5月21日(日) 13時30分～15時

*定員一四〇名、当日先着順、参加料五〇〇円



織田信包画像(龍安寺蔵)

城郭探訪「安土城を歩く」

日時：5月27日(土) 解説：当館学芸員

*要予約、参加費一五〇〇円、定員20名(入館料：入山料込)

特別陳列

歴史の中の女性(考古資料編)

会期：平成29年4月4日(火)～6月4日(日)

会場：ロビー特設ケース

女性の姿を表現した木偶や埴輪をはじめ、県内の発掘調査で出土した、女性の造形、装身具、化粧用具などを紹介します。

主な展示資料

土偶(相谷熊原遺跡、複製品、滋賀県教育委員会蔵)

木偶(烏丸崎遺跡、県指定文化財、当館蔵)

木偶(湯ノ部遺跡、県指定文化財、当館蔵)

巫女形埴輪(欲賀遺跡、守山市教育委員会蔵)

漆塗櫛・堅櫛(金森西遺跡、滋賀県教育委員会蔵)

横櫛(関津遺跡、滋賀県教育委員会蔵)

銅造十一面観音立像(欲賀南遺跡、守山市教育委員会蔵)ほか



墨画土器(市指定文化財) 上仰木遺跡(大津市埋蔵文化財調査センター蔵)

ギャラリートーク

日時：4月22日(土) 10時30分～13時30分

解説：当館学芸員 要常設展入館料

企画展示室

開館25周年記念 平成29年春季特別展

信長のプロフィール

信長は現在、歴史上の人物の中でも、一、二を争う人気を誇っています。強力なリーダーシップ、進取気鋭で開明的な政策、奇抜な戦法など、人びとは閉塞的な時代を打破する「改革」の気運を、信長に夢見ているようです。

しかしながら、その信長の実像というと、意外なほど知られていません。それどころか最近の研究では、このような信長のイメージを覆す説も、多方面で唱えられるようになりました。

信長の先祖は藤原姓を名乗り、越前国(福井県)織田の劍神社と深い関わりを持っていましたが、尾張(愛知県)に移った後、信長が「平」姓に改めたため、現在の系図は全て平氏です。

織田氏は尾張守護代(たい)の家柄ですが、分家である信長の家はその家臣で、幕府の政治に関与できる立場にはありませんでした。父の代から実力をつけ、多くの兄弟姉妹を支えられながら、大名の地位に上り、やがて上洛を果たします。多くの子供たちも、有効に利用されました。

しかしながら、信長自身は自ら権力の頂点に立つとは考えていなかったようです。各地の争乱を鎮めて將軍もしくは天皇を中心に平和な世を作る、すなわち天下静謐(しんかひやく)に寄与するために、それを乱す勢力と戦ったというのです。

展覧会では、信長の出自や一族、その歩んだ道を資料で紹介しながら、新たな「信長像」の魅力を考えていきたいと思えます。

主な展示資料

(●)は国宝、○は重要文化財、△は県指定文化財、□は市指定文化財

南蛮胴具足(岐阜市歴史博物館蔵)

□織田信長画像(近江八幡市地見寺蔵)

織田有楽斎画像(京都市正伝永源院蔵)

織田信包画像(京都市龍安寺蔵)

お市の方画像(当館蔵)

□お犬の方・信長妹画像(龍安寺蔵)

織田信雄画像(丹波市保管)

△劔大明神境内古絵図(越前町劔神社蔵)

△平信長銘鱧口(郡上市大師講蔵)

●三条西実枝書状(京都市京都市学・歴史館蔵)

小牧山地形模型(個人蔵)

正親町天皇綸旨案(京都市歴史資料館蔵)

○安土山下町中掟書(近江八幡市蔵)

○六角氏奉行人連署奉書案(今堀日吉神社蔵)

春季特別展記念講演会

「信長が目指した天下静謐とは？」

講師：金子拓氏(東京大学史料編纂所教授)

日時：5月14日(日) 13時30分～15時

「信長以前の織田一族」

講師：高木久史氏(安田女子大学准教授)

日時：5月21日(日) 13時30分～15時

*定員一四〇名、当日先着順、参加料五〇〇円



織田信包画像(龍安寺蔵)

城郭探訪「安土城を歩く」

日時：5月27日(土) 解説：当館学芸員

*要予約、参加費一五〇〇円、定員20名(入館料：入山料込)

特別陳列

歴史の中の女性(考古資料編)

会期：平成29年4月4日(火)～6月4日(日)

会場：ロビー特設ケース

女性の姿を表現した木偶や埴輪をはじめ、県内の発掘調査で出土した、女性の造形、装身具、化粧用具などを紹介します。

主な展示資料

土偶(相谷熊原遺跡、複製品、滋賀県教育委員会蔵)

木偶(烏丸崎遺跡、県指定文化財、当館蔵)

木偶(湯ノ部遺跡、県指定文化財、当館蔵)

巫女形埴輪(欲賀遺跡、守山市教育委員会蔵)

漆塗櫛・堅櫛(金森西遺跡、滋賀県教育委員会蔵)

横櫛(関津遺跡、滋賀県教育委員会蔵)

銅造十一面観音立像(欲賀南遺跡、守山市教育委員会蔵)ほか



墨画土器(市指定文化財) 上仰木遺跡
(大津市埋蔵文化財調査センター蔵)

ギャラリートーク

日時：4月22日(土) 10時30分、13時30分

解説：当館学芸員 要常設展入館料

博物館の主な催し

			企 画 展 示 画 室	第1常設 展 示 室	第2常設 展 示 室
4月	2日(日)	企画展関連博物館講座⑤ 「神道美術の最稠密地域・近江湖南における神像彫刻と狛犬を語る」 講師：山下立（当館学芸員） 13時30分～【有料】	「大湖南展」 4月9日(日)	特別陳列 「歴史の中の女性(考古資料編)」 4月4日(火)～6月4日(日)	
	21日(金)	講座「金曜城郭最新情報」① 講師：滋賀県教育委員会文化財保護課城郭調査係職員 13時30分～【有料】			
	22日(土)	ギャラリートーク「歴史の中の女性(考古資料編)」 解説：当館学芸員 10時30分～、13時30分～【要常設展入館料】			
5月	3日(水・祝)～ 7日(日)	親子写生大会 10時～16時 【無料・参加者には博物館グッズ進呈】	平成29年春季特別展 「信長のプロフィール」 4月29日(土)～6月4日(日)		
	5日(金・祝)	春のお茶会 10時～15時 【当日受付・先着100名・300円】			
	14日(日)	春季特別展記念講演会①「信長が目指した天下静謐とは？」 講師：金子拓氏（東京大学史料編纂所教授） 13時30分～【有料】			
	17日(水)	水曜神仏語り講座①「お薬師さんー薬師如来の信仰と美術ー」 講師：山下立（当館学芸員） 13時30分～【有料】			
	19日(金)	講座「金曜城郭最新情報」② 講師：滋賀県教育委員会文化財保護課城郭調査係職員 13時30分～【有料】			
	21日(日)	春季特別展記念講演会②「信長以前の織田一族」 講師：高木久史氏（安田女子大学准教授） 13時30分～【有料】			
	27日(土)	城郭探訪「安土城を歩く」 案内：当館学芸員 【要予約・有料】			
6月	10日(土)	入門講座「屋外展示を楽しもう」① 「街道の石造物ー道標・常夜燈・車石ー」 講師：田井中洋介（当館学芸課長） 13時30分～【有料】			特別陳列 「戦国時代の花器」 5月20日(土)～7月2日(日)
	16日(金)	講座「金曜城郭最新情報」③ 講師：滋賀県教育委員会文化財保護課城郭調査係職員 13時30分～【有料】			
	18日(日)	ギャラリートーク「戦国時代の花器」 解説：当館学芸員 10時30分～、13時30分～【要常設展入館料】			
	21日(水)	水曜神仏語り講座②「お地藏さんー地藏菩薩の信仰と美術ー」 講師：山下立（当館学芸員） 13時30分～【有料】			
	24日(土)	入門講座「屋外展示を楽しもう」② 「重要文化財旧宮地家住宅と近江の近世民家」 講師：菅原和之氏（滋賀県教育委員会） 13時30分～【有料】			

※講座の会場はすべて当館セミナールームです。

※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

おおてみち 第99号
平成29年(2017年)3月31日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL0748-46-2424
E-mail: gakuget@azuchi-museum.or.jp URL: http://www.azuchi-museum.or.jp